

# 衆議院財務金融委員会ニュース

【第211回国会】令和5年3月7日（火）、第6回の委員会が開かれました。

## 1 関税定率法等の一部を改正する法律案（内閣提出第13号）

- ・鈴木財務大臣から趣旨の説明を聴取しました。
- ・鈴木財務大臣兼金融担当大臣、井上財務副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。  
（質疑者）若林健太君（自民）、山崎正恭君（公明）

（質疑者及び主な質疑事項）

### 若林健太君（自民）

- （1） 国際的な電子商取引の拡大に伴い急増する輸入貨物に対する税関の対処状況
- （2） 税関事務管理人制度の課題及び同制度の拡充により期待される効果
- （3） 経済安全保障情報分析センターの設置
  - ア 同センターの設置の狙い及び運用状況
  - イ 東京税関に設置された同センターと全国の組織との連携の在り方
- （4） 「スマート税関の実現に向けたアクションプラン2022」を踏まえた取組
  - ア 業務の効率化を図るための取組の状況及びデジタル化の具体的事例
  - イ 不正薬物の検査等におけるスマート技術による取組の内容
- （5） 輸入貨物や訪日外国人旅行者などの増加が見込まれる中、税関職員の人員確保・体制整備の必要性についての大臣の見解

### 山崎正恭君（公明）

- （1） 今回の税関事務管理人制度の拡充措置により、今後さらに取引が複雑化した場合にも対応していけるのかとの懸念に対する政府の見解
- （2） 税関業務の高度化、効率化
  - ア 「スマート税関の実現に向けたアクションプラン2022」を踏まえたDX化による業務の高度化、効率化に向けた取組状況
  - イ 検査装置などの技術開発に係る日本の現状及び今後の取組方針
  - ウ 最先端技術の導入に向けた専門人材の育成、確保、拡充の取組の進め方